

やよい図書館

いつもやよい図書館をご利用いただきありがとうございます。

緑が日ごとに濃さを増し、そろそろ関東も梅雨入りの日が近づいてきました。今年は春も雨（雷、強風、竜巻なども）が多かったように思います。雨に濡れた緑やアジサイの花を見るのは楽しいけれど、少し気の重い季節であることも確かです。晴耕雨読といきたいところですが、そうもいかないのが多忙な現代人。なんとか明るい気分で梅雨を乗り切りたいものですね。

そこで、気分転換に俳句や短歌などを始めてみるのはいかがでしょうか？

足立区には、小林一茶ゆかりの炎天寺や、松尾芭蕉の『奥の細道』の出発点である千住などが点在し、俳句とは縁の深い土地柄であることをご存知でしょうか？

やよい図書館では区制80周年記念事業として、夏から俳句や短歌の募集をする予定であります（絵画や写真も募集します。詳細は次号に掲載）。慣れた方も初めての方も、大人も子どもも、どうぞお気軽にご参加ください。

今回は、俳句や短歌の作り方の本を紹介します。

★『親子で楽しむ
こども俳句教室』
大高 翔／著 明治書院
カラフルで、とてもわかりやすい内容となっています。

★『ちびまる子ちゃんの
俳句教室』
夏石番矢／編・著 集英社
おなじみ、ちびまる子ちゃんが
おもしろく俳句を紹介するよ。

★『俳句はいかが』
五味太郎／著
岩崎書店
自分でも俳句を作る五味太郎
さんが俳句を解説するよ。

『俳句、はじめました』
岸本葉子／著
角川学芸出版
初めての「句会」参加など、
初心のわくわく感を紹介。

- ★『まんがで学ぶ俳句・短歌』 白石範孝／著 国土社
- 『俳句の作り方、教えてください』 俵 万智×一青 窈／著 角川学芸出版
- 『俳句の入口～作句の基本と楽しみ方』 藤田湘子／著 日本放送出版
- 『短歌ください』 穂村 弘／著 メディアファクトリー

★は児童向け

区制80周年記念事業

「描こう！これまでの足立、これからの足立」



区制80周年を記念して、やよい図書館では足立区の好きなところを
絵画や写真、俳句、短歌にした作品をみなさまから募集します！！

応募作品は図書館に掲示し、利用者みなさまにお好きな作品に投票していただき、優秀作品を決定いたします！応募の詳細はあってお知らせいたします。

今月号のオアシスでは、中央本町センターの登録団体として活動中の俳句サークル「あすなる会」さんの活動の様子や先生へのインタビュー、発句のアドバイスなどををご紹介します。

足立区の好きなところを5・7・5の17文字に詠んでみませんか？みなさまの素敵な作品で、やよい図書館を飾ってください★

あすなる会さんは毎月第1土曜日、中央本町センターの学習室で句会を行っています。三時間ほどの句会の内容は…

出句：会員の皆さまが作られた作品をそれぞれ短冊に書き、提出します。

清記：短冊をシャッフルし、それぞれ数枚ずつの分担で別紙に清書します。
(字体での判別ができなくなるので、誰の句か全く分からなくなります。)

選句：清記された紙を回して、それぞれ良いと思う句を選びます。

披稿：選ばれた句が読み上げられ、ここで初めて詠んだ人が判明します。

選評：先生による「この句はこうしたらもっと良くなる」といったアドバイス。

月ごとにテーマがあり、取材した5月のテーマは「葉桜」でした。
句会の他に散歩会（吟行）も行っており、増上寺などに出かけて俳句を楽しんでいらっしやるそうです。



みなさん真剣に選句中！

五十嵐とみ子先生にインタビュー★



先生による選評

とみ子先生の一句

花あわれ雨の匂いを傘のうち

40年という長い活動の歴史を持つあすなる会さんで指導にあたるのは、俳句歴50年以上の五十嵐とみ子先生です。先生は足立区では2人しかいない俳人協会のおひとりです。

小学校5年生の時に作った俳句を褒められたことがきっかけで俳句が好きになった先生は、30代の頃に俳句会のお手伝いを頼まれて参加、以来ずっと俳句を続けていらっしやいます。毎年秋に中央本町センターで行われる「ふれあいまつり」では、来場者に俳句をプレゼントして下さっています。(昨年は、2日間で100句以上を作って下さいました！)

俳句を作るにあたり、「日常生活で物事をよく見て発見する」ことが大切だと先生はおっしゃいます。また俳句は「流れゆく時間を記録する日記のようなもの」なのだそう。さらに「連衆(れんじゅう)の文学」である俳句は、他人の目で見てもらうことで、もっと良くなるそうです。

流れゆく日常の中で発見したことを17文字に込めて留めておく。それを仲間と共有してさらに良いものに仕上げる…なんだかとても素敵な作業だと思いませんか？楽しいからこそ先生やあすなる会の方々为本当に長い間俳句を続けられるのですね。

80年の時が流れた足立区。みなさまも足立区への思いなどをご自分なりの17文字で記録して、図書館で共有させて下さいませんか。そしてこれを機に俳句をもっと深く楽しみたいと思われた方は、あすなる会さんに仲間入りされてみてはいかがでしょうか。五十嵐先生が奥深い俳句の魅力をたっぷり教えて下さいます！